

家庭ごみ有料化の現状について

1 有料化に向け検討している区

区名	検討時期	内容
新宿区		審議会から有料化の有効性についての報告を受け、庁内検討会を作り、情報収集や問題点を検討中
文京区		審議会の部会でのまとめ ・ 時期尚早であり、他にまだやるべき方策があること ・ 周辺区との調和を図るべきこと ・ 効果が限定される可能性があること
中野区	25年度頃まで	審議会を実施すべきとの答申を受け、庁内検討会で実施に向けた具体的な事項を検討中
杉並区		平成20年度より「戸別収集・家庭ごみ有料化検討会」を設置し、具体的な事項を検討中
豊島区		平成20年の審議会の答申において「家庭ごみ有料化導入」の提言がなされた
北区	23年度頃まで	審議会から、検討するにあたっては清掃事業の更なる効率化・サービスの向上が必要であるとの答申を受け、庁内検討会で実施に向けた事項を検討中
葛飾区		現在、審議会に諮問した「一般廃棄物の更なる減量について」の中で重点課題として審議中

2 練馬区の有料化への考え方の経緯

練馬区一般廃棄物処理基本計画（平成18年度～32年度）

練馬区第2次一般廃棄物処理基本計画では、ごみ処理費用の負担のあり方の検討の中で、「家庭ごみの有料化については、期待される効果や課題など様々な角度から、検討を行っていきます。」としている。

練馬区第3次一般廃棄物処理基本計画案では、清掃・リサイクル事業の効率化の課題の中で、「国の方針を踏まえ、清掃・リサイクル事業の実施に際しては、費用対効果を考慮するとともに、経済的インセンティブも働くような施策を進める必要があります。」としている。

練馬区循環型社会推進会議（平成18年7月諮問、平成20年1月答申）

『“ごみ半減”をめざした3Rの推進について』

「家庭ごみの有料化は、有力な発生抑制策の一つであるが、区民に直接的な負担を求める施策であり、実施にあたっては、区民の理解と協力が何よりも必要である。今後、国や都、他区の動向を注視しつつ、検討を一層深めていくべきである。」としている。

練馬区長期計画（平成22年度～26年度）

施策4.2.4 『ごみの発生を抑制する』の課題の中で、「清掃事業における

負担のあり方として全国の自治体で導入が進む家庭系廃棄物の有料化の検討も必要となります。」としている。

3 多摩地域における有料化実施状況

26 市中、有料化導入は 19 市 実施率 73.1% (平成 22 年 12 月 1 日現在)

市 名	実施時期	収集方式
八王子市	H16.10.1	戸別収集
武蔵野市	H16.10.1	戸別収集
三鷹市	H21.10.1	戸別収集
青梅市	H10.10.1	戸別収集
府中市	H22.2.2	戸別収集
昭島市	H14.4.1	戸別収集・ステーション
調布市	H16.4.1	戸別収集
町田市	H17.10.1	戸別収集・ステーション
小金井市	H17.8.1	戸別収集
日野市	H12.10.1	戸別収集
東村山市	H14.10.1	戸別収集
福生市	H14.4.1	戸別収集
狛江市	H17.10.1	戸別収集
清瀬市	H13.6.1	ステーション
多摩市	H20.4.1	戸別収集・ステーション
稲城市	H16.10.1	戸別収集
羽村市	H14.10.1	戸別収集
あきる野市	H16.4.1	戸別収集
西東京市	H20.1.1	戸別収集

「多摩地域ごみ実態調査(平成 21 年度統計)より抜粋」